

コリア語会話Ⅰ

科目ナンバリング KOR-109
必修 1単位

朴 天弘

1. 授業の概要(ねらい)

本授業は外国語学科コリア語コースの1年生を対象としたコリア語の最も基礎的な会話の授業である。ライティングは最小限に抑えてスピーキングに重点をおいた授業であり、『コリア語会話Ⅲ』と連携して行う。コリア語の仕組みと子・母音を正しい発音で覚え、ハングルの文章が自然なイントネーションで読めるように練習を重ねていく。また、『コリア語会話Ⅲ』で学習した文法事項とフレーズを復習しそれらを活用して、日常生活に必要な基礎的な会話を無理なく話せるようにトレーニングする。授業では韓国の若者ことばや最近の話題なども適宜紹介する。

2. 授業の到達目標

- ①ハングル文字と調音の仕組みを理解し、正しい発音ができるようにする。
- ②基礎的な日常会話ができる。
- ③学習する語彙や表現に関連する生活文化・言語文化について理解を深める。
- ④韓国の現在について知見を広める。

3. 成績評価の方法および基準

平常点(出席、授業態度、小テスト)60%、期末テスト40%

4. 教科書・参考文献

教科書
ガイダンス時に開示する。
関連する視聴覚資料・補助教材などは授業中に提示・配布する。

5. 準備学修の内容

予習をしてくること。欠席回数によっては成績評価の対象から除外する場合がある。

6. その他履修上の注意事項

積極的に授業に臨むこと。無断欠席はしない。
*授業の進みは前後する可能性がある。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス(授業の紹介、自己紹介、アイスブレイキング)
- 【第2回】 <準備編>文字と発音(1)
- 【第3回】 <準備編>文字と発音(2)
- 【第4回】 初対面の挨拶、自己紹介。
- 【第5回】 物についてたずねる、答える。
- 【第6回】 家族を紹介する、やわらかい丁寧語。
- 【第7回】 場所や位置をたずねる、簡単な道案内。
- 【第8回】 行動を述べる、二つ以上の動作を並列して話す。
- 【第9回】 スケジュールを説明する、因果関係を話す。
- 【第10回】 提案する、理由と根拠を提示して相手の意思を尋ねる。
- 【第11回】 食堂で注文をする、自分の意思表示と決定を表す。
- 【第12回】 基本助詞と用言のまとめ、電話をかける、願望を表す。
- 【第13回】 過去のことを述べる、曜日と日付が言える。
- 【第14回】 授受表現、尊敬語
- 【第15回】 総まとめ、前期の学習内容を活用した簡単なスピーチ。